

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】令和2年6月25日(2020.6.25)

【公開番号】特開2018-42448(P2018-42448A)

【公開日】平成30年3月15日(2018.3.15)

【年通号数】公開・登録公報2018-010

【出願番号】特願2017-107558(P2017-107558)

【国際特許分類】

H 02 K	11/33	(2016.01)
B 25 J	19/00	(2006.01)
B 25 J	9/06	(2006.01)
B 25 J	1/10	(2006.01)
H 02 K	11/22	(2016.01)

【F I】

H 02 K	11/33	
B 25 J	19/00	A
B 25 J	9/06	D
B 25 J	1/10	
H 02 K	11/22	

【手続補正書】

【提出日】令和2年5月12日(2020.5.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1のモーターと、

前記第1のモーターを駆動する駆動回路を有する第1のアンプ部と、を備え、

前記第1のモーターは、第1の面に前記第1のアンプ部を着脱可能とする第1の着脱部と、前記第1の面とは異なる第2の面に前記第1のアンプ部を着脱可能とする第2の着脱部と、を有する、

モーターユニット。

【請求項2】

前記第1の面と前記第2の面の間に、前記第1のモーターの回転軸が設けられている、
請求項1に記載のモーターユニット。

【請求項3】

前記着脱部と前記アンプ部との間には、介在部材が介在する、

請求項1または2に記載のモーターユニット。

【請求項4】

前記介在部材は、脚板部と、背面板部と、を有し、

背面板部と前記第1のモーターとの間には前記脚板部によって隙間が設けられることを特徴とする、請求項3に記載のモーターユニット。

【請求項5】

請求項1から4のいずれか一項に記載のモーターユニットと、

回転軸周りに回動可能なアームと、を備え、

前記第1のモーターは、前記回転軸周りに前記アームを駆動する、

口ボット。

【請求項 6】

前記アームに設けられ作動軸周りに回動する作動軸体と、
前記作業軸体を駆動する第 2 のモーターと、
を備えることを特徴とする、請求項 5 に記載の口ボット。